

学習指導案（教科：英語）

1 授業内容

科目：英語 I

単元：Lesson1 Godzilla honored in Tokyo : CNN

新宿区は、平成 27 年 4 月 9 日（木）に「ゴジラ」に特別住民票を交付するとともに、国際観光都市・新宿の魅力を国内外に発信するため、「ゴジラ」を「新宿観光特使」に任命しました。

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標: 地域の発展のために、その魅力を発信することの意義や方法についてグループ内で話し合い、その意見をまとめ発表することができる。

(2) 本時の目標: 日本のみならず海外でも上映されて人気を呼び、ハリウッド・ウォーク・オブ・フェームに日本のキャラクターとしては唯一の例として登録されている「ゴジラ」を題材にし、自分が暮らしている町に関心を持つとともに、自分たちの町を発展させることの意義を考え、その方法についてグループ内で話し合うことができる。

(3) 本時の評価基準:

①ペア・ワークやグループワークに積極的に参加し、互いに協力しながら会話を続けることができる。

②概要や要点を読み取るとともに、本文の内容に関する情報や自分の意見を話したり、書いたりすることができる。

③学習した語彙や文法事項の使い方に関する知識を身に付け、適切に用いることができる。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	○前時の復習 ○学習の見通し ・本時のゴール提示 ・本時の事前情報	Review <u>ICT 活用</u> Introduction ・本時のゴールを確認し、その達成に向けて行う言語活動の内容を確認する。 Today's Goal : We can talk about how to make our hometown better. <u>ICT 活用</u> ・授業者の提示する視聴覚教材を見ながら内容に関するやりとりをする。 <u>ICT 活用</u>	・ <u>ClassPad.net の Ex-word ジーニアス英和辞典を活用し語彙の復習をする。(基本動詞の使い方を提示)</u> ・本時の活動内容とゴールを生徒と共有する。 <u>ClassPad.net のテキストを使用し、本時のゴールと活動内容を提示する。</u> <u>ClassPad.net のファイルを活用し、クイズの選択肢を提示し、リンクを活用してヒントを提示する。</u> ・緊張なく、教室全体が本時の表現活動に向かう雰囲気を作る。

展開 (30分)	○本文の内容理解 1 ・ 事実確認 ・ 語彙の意味と発音の確認 ・ 文法と意味の確認 ・ 音読練習 ・	・ CD を聞き、質問に答える。 ・ Q&A や T&F を行い、本文の内容を確認する。(Fact finding Questions) ・ ワークシートで意味の確認をする。 リピート・ペア練習・個人練習などの方法で音読練習をする。 ・ 文法事項を説明する。 ・ 意味内容を考えながら音読する。 読み方が難しい語は全体で共有して重点的に練習する。	・ 本文の理解を促すような発問をする。(生徒の反応に応じて発問を工夫する) ・ 英語の音声的な特徴に注意しながら音声と意味を確認するよう指導する。 ・ 生徒のつまずきに応じて文法事項を説明する。 ・ 意味内容を考えながら音読するよう指導する。また、表現活動に必要な文構造であることを意識させる。
	○本文の内容理解 2 ・ 行間を読む	・ ゴジラに特別住民権を与え、特任大使とした理由とその効果について生徒から意見を聞く。(Inference Questions)	・ ペアやグループで可能な限り多様な答えを共有する。また、興味深い意見を共有する場面を設ける。
	○ディスカッション 1 ・ 意見交換	自分たちの町を発展させることの意義とその方法についてグループ内で話し合い意見をまとめる。	・ 自由な意見交換を促し、適宜、あいづち表現などを確認する。
	○ディスカッション 2 ・ 意見発表	・ 各グループ内で話し合った「自分たちの町をよりよくする方法」についてその意義と方法をクラス全体で共有する。	別のグループの考えを比較し、「自分たちの町をよりよくする方法」について改めて考えるよう促す。
まとめ (5分)	○まとめと振り返り ・ 課題 ・ 連絡	・ 話し合いを振り返り、振り返りシートに自己評価とコメントを記入する。 ・ 課題の内容を確認する。 ・ 次回予告	・ 自己評価による内省の時間を設ける。 ・ 課題の指示をする。 ・ 次回の授業について説明する。

(5)ICT 活用計画

ICT を主に活用するのは、導入の部分である。前時の復習に EX-word、本時の学習への動機づけに、テキスト、リンク、ファイル機能を活用する。

手順としては、

- ① 教員は、ClassPad.net の生徒配布機能を使って前時の復習課題（単語リスト）を生徒全員に配布しておく。復習語彙リストを配布しておくことで、生徒は迷うことなく短時間で復習に取り組むことができる。
- ② 教員は復習課題リストから質問を作成し、該当の答えを ClassPad.net の EX-word で提示する。あらかじめ教員が EX-word の付箋を作成することで、効率的に授業時間を活用することができる。
- ③ 教員は ClassPad.net のテキストを使用し、本時のゴールと活動内容を提示する。あらかじめ教員がテキストの付箋に授業のゴールと活動内容を作成することで、授業内容にスムーズに移行することができる。
- ④ 教員は ClassPad.net のファイルを活用し、クイズの選択肢を提示し、リンクを活用してヒントを提示する。画像やリンクに付箋を貼っておくことで、タイミングを計って生徒の学習動機づけに活用できる。

